



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【世界共通】働く人たちと
失業している人たち
【日本の教会】諸宗教の貢献

平和を実現する人々は幸い

「平和を祈る集い」に400人集う

8月11日（金）、カテドラル大名町教会で日本カトリック平和旬間賛同企画「平和を祈る集い」（主催Ⅱカトリック福岡司教区）が行われた。社会司教委員会と長崎教会管区が共催として企画され、他教区からの参加者も含め約400人が集った。テーマは「地球という共通の家に暮らすすべての人へ」。環境問題と原発問題についての講話とミサを通して、平和の実現の使命と責任について考えた。



平和祈願ミサで心を一つにして祈る

るもの」となることが集いの目的であると述べた。

浜口末男司教（大分教区・社会司教委員会委員長）の導入の後、瀬本正之師（イエズス会・上智大学神学部教授）と原田雅樹師（ドミニコ会・清泉女子大学キリスト教文化研究所教授）による講話が行われた。

開会の挨拶で、宮原良治司教は「教会が教える平和の意味と価値を学び、黙想し、その上で私たちが聖霊に導かれて平和を愛するもの、実現す

の翻訳者である瀬本師は、環境問題について語られた本回勅の構成と要旨を説明。「イエスがこの世界と世界にある命を眺めているのと同じまな

講話 「ユスト高山右近」

古巣 馨神父（長崎教区司祭）

※子どもプログラムもあります。



皆さまの参加をお待ちしております。
※詳細は各小教区に配布されている案内をご参照ください。

アジアの青年大会 AYD 2017
福音を喜んで生きる



閉会ミサの後、インドネシアの青年らと記念撮影

て参加。福岡教区からは2人の青年が参加した。（本紙3面に参加した青年の感想を掲載）
7月29日、夜中に現地に着。バスで4時間かけてブルウォ

アジアの青年大会、第7回アジアニューズデー（AYD）がインドネシア・ジョグジャカルタで7月30日から8月6日まで行われ、アジアの22カ国から2140人が参加した。今大会のテーマは「アジアの若者よ、多様性あふれたアジアの文化の中で、福音を喜んで生きなさい」。日本からは27人が日本巡礼団とし

ケルト教区に移動。その日は教会敷地内の施設に宿泊。30日に同教区カテドラルにて「教区での日々」のオープニングミサに与った後、ホームステイ先の家族と合流。日本人、タイ人、インドネシア人の中から違う国籍の2、3人でグループを作り、ホームステイ。
31日は、ウオノソボにある

時の話題

今、動かなければ

「この災害は東北や新潟地方で起こったことではないです！ 私たちの教区内での災害です。今動かなければいつ動くの？」と熊本地震から10日程経った日、ある神父様からの突然の電話でした。

よしサマリア人のたとえやコブの手紙など数多く出てくるイエスの教えを知っている、義援金や物資を寄付することしか考えていなかった私にとっては、背中をポンと押されたような気がし、行動に移ることの大切さを感じました。

菊池教会の神父様や信徒の皆様にも助けられ、最近益城や西原村で「水巻教会のおじいちゃんたち」などと呼ばれています。

「無関心は大きな罪です。」マザーテレサの言葉が私たちの合言葉です。

山積みの課題を一つずつ

2017年度 第2回司祭評議会

9月5日、本年度第2回司祭評議会が開催され、以下の点について話し合われた。

①本年度教区目標「いつくしみから踏み出す第一歩」について、福岡地区では各教会から年間のスローガンを挙げてもらい、教区の年間目標に合わせた活動を行っている。

②教区創立100周年に向けての取り組み…2027年7月16日に教区創立100周年を迎えるが、教区民にそのことが浸透するように促す。特に、地区レベルで意識づけを計る。取り組みとして地区で起こってくるアイディアなどを温めていく。準備委員会の設置も必要ではないか。

③堅信について…堅信の対象者に対する教会側のアプローチは様々。堅信の秘跡に対する価値観が薄れている現状が続いているが、一致した

④2018年度教区行事予定について…教区レベル、地区レベルの計画など未定の部分が多い。

以前、福祉施設で多数の障害者をいとも簡単に殺害した事件があった。実行犯は同施設に勤めていた者。殺害の理由は「彼らが生きていても価値がないと思ったから」ということだ。被害者の親族は悲嘆にくれ、「生きて毎日を楽しんで欲しかったのに」「亡くなった人から学んだものは多かった」などと話し、加害者への憤りをあらわにしていた。中には、「生きることによって価値があるのだ。職員たるものは、その道理は分かっているはずだ」という関係者もいた。

第29回 教区幼児教育連盟教職員研修大会

「とびだそう!!」
みんなみんな 神様の子ども

大会の最後の感謝ミサ

8月28日から29日にかけて、佐賀県唐津のホテルで福岡教区幼児教育連盟(会長 下町豊重神父・佐賀カトリック幼稚園園長の教職員研修大会が行われた。テーマは「とびだそう!!」。それは、子ども達の内に秘められたものが関わる教職員に

よって引き出され、よりよく表現されるようにとの意味がある。今回の参加者は約300人。初日の講師は大塚了平神父(田川カトリック幼稚園園長)で、「信仰の発見」見つけ、育てる宗教教育」と題して話した。師は、「宗教教育であつても、頭ごなしや強制的に教えるのではなく、子どもの自主性を重んじ、心の動きや表現を受けとめながら伝えていくこと。教師が体験したことを通して愛の福音を伝えていくこと」など、カトリックの雰囲気や育つ子どもの心、教職員の宗教観の在り方を分かり易く話した。夕食の懇親会では担当の佐賀地区の教職員の出し物などで、終始笑顔で交流や情報交換ができた。

二日目の講師は掛札逸美氏

(NPO)法人保育の安全研究・教育センター代表理事、心理学博士)が務め、「子どもの命をどのように守るか」と題して、子どもを預かる施設における深刻事故予防とコミュニケーションの大切さについて話した。掛札氏は、「保育の価値とリスクを保育者が把握し、保護者にも伝えておくことが大切。命の安全のために子どもの行動を細かく観ることが大事」と語る。研修大会は宮原良治司教主司式の感謝ミサで締めくくられた。参加者は、「カトリックの精神が理解できるようになりまし

第17回 北九州平和の集い

平和の実現のために



子どもたちの手話つきの歌の発表

8月6日(日)、北九州信徒使徒職協議会(会長 大庭英樹)は「第17回北九州平和

の集い」を行った。教皇フランシスコの世界平和の日メッセージ「だれもが平和の作り手になれるのです」をテーマにした今年は、『愛の反対は憎しみではなく無関心です』(マザーテレサ)を思い起こし、祈った。午前は平和祈願ミサを、午後は北九州平和の集いを小倉教会にて行った。参加者は子ども21人、司祭10人を含む約200人であった。講師の森山信三神父(福岡コレジオ院長)は、「憎しみをやさしく包みなさい、憎しみをコトコト茹でなさい、そうしてやさ

しさに変容させる。それをすすめるのは私自身です」と話した。また、7月に亡くなった中国人の劉曉波(リウウギョウハ)氏や非暴力平和主義者の言葉を紹介しながら「平和の実現のため」を考えた。子どもは広場で、大塚了平神父(田川・直方教会)が話し、「戦争体験を通して平和を学ぶ」をテーマに身近な北九州の空襲を学び、平和を考えた。

取組の発表では、森松長生牧師(抱樸館)が「いのちの大切さ」について話し、村松泰隆神父(児童養護施設聖ヨゼフ寮)が特に「子どもの貧困」について力説した。また、憲法9条コント(キリスト者9条の会)は、「戦争を止めるのは私たち一人ひとりです」と熱く語った。平和祈願も大きな声で唱えられた。平和献金は「貧しい子ども達の教育支援」として、東ティモール「聖イグナチオ学院基金」・西アフリカ「シエラレオネ」へ贈られた。

(報告)水巻教会 岩本ナセ

福岡地区

恒例の聖モニカ祭

8月26日(土)、カテドラル大名町教会で聖モニカ祭が行われた。福岡地区カトリック女性の会の守護者、聖モニカへの感謝と取次ぎを願うと共に、この1年で帰天された方々の永遠の安息を祈り、ミサ(主式)宮原良治司教が捧げられた。

ミサの中で、宮原司教は「永遠の安息をえた人々の天上の教会と、私たち地上の教会の交わりのとき。天上の喜びにいつの日か共に交わるという信仰をもって、祈りましょう」と会衆を招いた。

追悼式では、昨年の8月から今年7月までに亡くなられた、司教・司祭・修道者と福岡地区14教会から1633人の名前が読み上げられた。信者でない方も含まれる。また各地で起こる自然災害の犠牲者の為にも祈りが捧げられた。

教区内2つの納骨堂で追悼ミサ

和田墓地(福岡)では

暑さの中、8月15日の和田墓地追悼ミサに約350人が集った。

今回は、教区本部事務局・青木悟神父と8人の司祭達の共同司式でミサが執行された。その後の納骨式では9人が納骨された。尚、お盆の和田墓地訪問者は、8月13日が450人、14日が230人であった。年々、気温が増しているが、死者への敬愛心は厚く、暑さを超えるものがある。大事にしたいことである。

北九州納骨堂では

8月15日に北九州市小倉南区葛原にあるカトリック北九州納骨堂にて追悼ミサが宮原

良治司教と多数の司祭の共同司式で行われた。

400人を超える参加者は心一つにして死者のために祈った。その後、社交場となった大テントの中では、お互いの安否を気遣う声や久しぶりの再会に喜ぶ声が飛び交っていた。出された冷たいお茶で心も潤ったひと時であった。参加者は次回もこの場所で会えることを期待して散会した。

計報

ステファノ 百村等 神父
(聖パウロ修道会)



9月11日、東京・聖母病院で肝臓がんによる多臓器不全のため帰天。享年83。1963年に司祭叙階。司祭生活54年。福岡教区には1979年から88年、94年から2000年、2013年から16年までの都合3回赴任、福岡市小笹の聖パウロ小神学校で神学生の指導、同市赤坂の同会修道院で院長などを務めた。この間、「福岡教区報」の発行にあたって校正などをお手伝いくださった。

ドリーヌ

月岡たまの 修道女

(聖母訪問会)
1935年生まれ。57年に入会。9月3日に帰天。享年82。

フランススコ

浦川 行雄氏

浦川務神父(熊本・健軍教会主任)のご尊父が、8月9日、長崎のご自宅で帰天された。享年92。

カテキズムを学ぶ④
キリストの受難と死の神秘

わが国でも広く読まれている哲学者のニーチェやサルトルが「神は死んだ」と宣言して大きな衝撃をそれぞれの時代の思想界に与えたことは有名です。また前世紀の後半に「神の死の神学」が世界中の神学者の間で話題になりました。永遠の生命そのものであり、すべての生命(いのち)の与え主である神の「死」について語ることは確かにショッキングですが、彼らが言いたかったのは自立的で自由な人間の生き方はキリスト教が説いてきた神の概念とは両立しない、或いは世俗化した現代社会で生きている人々の意識には神はまったく不在

だということにとどまり、「神の死」と言う現実には真剣に直視し、考えめぐらした上での結論ではなかったようです。「神の死」という神秘(問題)ではなく、について真剣に考えたのはむしろ教父と呼ばれる人たちでした。「不条理であるがゆえに信じる」という言葉で有名なテルトゥリアヌス(160年頃〜240年頃)は「神の御子は死んだ、これは是非とも信じなければならぬ、なぜなら不条理(inepum)だから」と述べています。

私たちは「神がわれわれの救いのために人間と成り給うた」という受肉の神秘を、そ

れこそ福音の根本として信じていますが、キリストがゲツセマネの園で、「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」と祈られ、十字架上で「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と大声で叫ばれる場面に接すると、受肉の神秘を否定はしないまでも、目の前の「ユダヤ人の王ナザレナイエス」を私たちと変わらない「ただの人」(homo punus)と思いこんでしまうのではありませんか。言いかえると、自らの真実の使命から目を背けようとする程のもだえ・悲しみ、自らが苦しみの極みへと遺棄さ

れたことへの絶望、それこそイエスの人間性の顕示であるときめこみ、知らず知らずのうちにキリストにおける人間性を神性から切り離す誤りに陥っているのではないのでしょうか。

むしろ私たちはキリストの受難と死について考えるときには、受肉という信仰の神秘に心を集中し、それにもとづいて福音書が告げるイエスの振舞いや言葉の意味を理解するように努めるべきではないでしょうか。なぜなら、受肉の神秘を信じるのがキリストを真実に信じていることですから、この信仰の神秘がキリストの受難と死をめぐって私た

ちが直面する様々の疑問、矛盾や不条理としか思えないことを説明してくれる光であるに違いないからです。受難を前にしてイエスを襲った深い悲しみや心の動揺、十字架上で絶望としか言いようのない叫び、そうしたイエスが私たちの主であり、救い主、贖い主であることを疑わせるような事柄をあえて福音記者が記したのは、ただ歴史的な事実を記録するためではありませんでした。それは私たちがこのようなイエスの振舞いや言葉からして、受肉の神秘をより深く理解し、そこで示されている神の愛と知恵をより強く感じとるためでした。

【月例黙想会】
期 日：①10月21日(土)17時~22日(日)9時
②11月11日(土)17時~12日(日)9時
指導者：染野治雄 神父(御受難修道会)
費用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com



ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

福島家族支援実行委員会
交流体験プログラム

博多にきんしゃ〜い4



のびのびと遊ぶ子どもたちと青年スタッフ

これまでは福島原発事故により避難生活を余儀なくされた家族を中心に保養プログラムを行ってきた。今回（4回目）はカリタス南相馬の協力を得、福島の小学6年生を中心に15人を招き7月28日～31日、3泊4日の交流、体験のプログラムを行った。

原発事故から6年がたち避難解除区域になり帰還する方も少しずつ増えてきているとはいえ、根本的な解決は

程遠く、地域崩壊、線量、風評被害、家族離散、孤独など数多くの問題を抱えているのが現状のようだ。そんな中、子どもたちを少しでものびのびさせたいとの輪は全国に広がっている。今回私たちもその一つとして子どもたちだけを招いた。慣れない環境に一人で来た子どもたちとの関わりなど、初めての事で戸惑いの連続だったが、青年をはじめ神父様方、多くの皆様の協力を得て無事終えることができた。心より感謝！参加した子どもの親御さんから「子どもがとても喜んで帰ってきました」とのお手紙をいただき、胸をなであっている。（報告＝目良信子）

FYCC(福岡ユース・カトリック・キャンプ)
仲間と共に楽しみ学ぶ



1日目、班に分かれ、敷地内でフィールドワークを楽しみ、聖書に触れた後、2日目に終わるミサの共同祈願や聖歌を決める等の準備を行なった。夜には、シスターによる召命についての講話を聴き、召命についての質問を司祭や神学生・青年に投げかける時間があった。参加者の真剣な表情で講話を聴く姿や質問をする姿が見られた。夜の活動の最後には参加者の親からの手紙が一人ひとり配られ、家族について個人で考える時間も設けられた。2日目は、親への返事を書いたり、初日の活動を通して感じたことを各班で分かちあう時間があった。2日間の締めくくりとしてのミサが行われた後、解散式が行われ、テーマソングである「ななかま」を歌い、集いの幕を閉じた。

この2日間を通し、ミサや召命・家族について学べたのではないかなと思う。また、中高生が笑顔で参加しているのを見て、このような中高生と

信仰を次の世代へ
佐賀地区サマーキャンプ



シスターと一緒にホスチア作り

8月19日（土）、佐賀地区宣教司牧評議会主催サマーキャンプが多久教会・旧多久カトリック幼稚園園舎にて開催された。小中高生への信仰教育を目的として一日のみの開催とした。

この日は天候にも恵まれ、佐賀地区の各小教会から保護者やスタッフを含めて約80人が集い、大神学校やコレジオで学ぶ教区の神学生3人も協力者として参加した。

午前中のプログラムでは、青年会が企画したレクリエーションで親睦を図り、大いに盛り上がった。昼食は大人の

被災地熊本で、
「マザーテレサ・祈り」の歌

あの魔の地震から一年余りが経つ熊本は、懸命な復旧事業によって、復興の確かな兆しが見える一方で、被災者の多くが未だ仮設住宅などで、不自由な生活を余儀なくされている厳しい現実が続いている。

この様な中で、7月16日（日）午後4時より島崎教会聖堂にて、第5回「教会音楽の夕べ」が開かれた。この集

「青年のあゆみ」
AYDに参加して

本紙1面で紹介したアジア・ユースデイ（AYD）に参加した二人の青年に感想を寄せてもらった。

糸島教会 古賀健人

私はAYD in Indonesiaに参加して、多くのことを学ぶことができた。

その中でも、各国の青年との関わりの中で、「他者を受け入れること」の大切さを改めて感じた。インドネシアで多くの教会を訪れる機会があったが、その多くで教会が集いの場として開放されてお

り、キリスト教徒以外のの方の姿も多く見ることができた。また、プログラムの中で文化的な遺跡等を訪問する機会も多くあったが、その多くではカトリックもしくはキリスト

教の教えと、地域の土着の宗教や習慣が混ざり合って共存していた。一見仏教的に見える石像にも、よく見ればキリスト教的なモチーフが用いられており、深い所でお互いを認め合い、共存している様子が感じられた。現代の教会、特に青年としての私達に求め

この歌詞は、涙の谷から叫ぶ、聖母マリアへの祈りである。これは正しく、被災地熊本の涙の谷から叫ぶ、私たちの心の祈り、そのものであった。後半の部では、日本で生まれたカトリック聖歌が、若きコーラスグループによって合唱された。この中の一つ、合唱曲「私をお使いください」（マザーテレサの祈り）の「主よ、今日一日、貧しい人や病んでいる人々を助けるために、私の手を、お望みでしたら今日、私のこの手をお使いください」という歌詞は、被災し一年余り、堪え難きを堪え、疲

られていることは、若さを活かして「違い」を受け入れ、共存する姿勢を示すことなのかもしれないと感じた。

久留米教会 藤田真弓

大会に行く前の準備会からAYDが始まっているのを感じた。大会に参加するメンバーと関わる中で、個々人が大会に何を求めているのか明確に意識しており、自分が神から愛され真摯に神に向き合おうとする青年がこんなにたくさんいたのだと知り励みになった。

大会中のミサは聖歌、第一、二朗読と共同祈願を各国の聖歌や言葉で捧げた。各国の伝統衣装を着てミサに参加する人もいた。そのことを通しアジアは広いということを知らなかったということを知った。言葉、文化、風習、着るもの等全てが国によって異なり、その土地土地で培われた中に神のユニークな豊かさが表れていると感じた。

言葉、文化、風習、着るものが違っても皆同じ信仰を生きている仲間なのだと感じる事ができた。

このような機会を与えてくださった神と、様々な形で支えてくださった小教会・教区の信徒の皆さんに感謝。

ある女性の信徒は感想をこう述べてくれた。「今日の音楽の夕べで、気付かされた事があります。私たちの周りにやって来て、いつも笑顔でやさしくお手伝いしてくれているあのボランティアの大勢の人たちは、神様が、被災した私たちに遣わしてくださったのではないのでしょうか。」

（報告＝島崎教会 高木光行）

BOOK
読書専科

☆使徒的勧告 愛のよろこび



社会や環境の急激な変化、個人主義の台頭、人間の関係性の希薄化や変貌などによって、価値が揺らぎ危機に瀕している「家庭」と、それを築くための根本である「結婚」。そうした現代の危機への認識から出発し、聖書、そして教会諸文書が何を教えているかを再確認したうえで、社会の最小単位である家庭の不变の価値を、過去の教会の独善的ですらあった姿勢に対する反省を伴いつつ説く。愛と性のキリスト教的理解の指針。カトリック中央協議会発行

税込価格2160円

☆第二バチカン公会議を、今日に生きる

佐々木博著



第二バチカン公会議の開催に至るまでの準備段階を振り返り、さらに公会議の実りである「憲章」や「教令」などを解説。公会議後半世紀が過ぎた今日、その刷新と改革の歩みをどのように生きていくべきかを示す。

サンパウロ発行
税込価格1728円

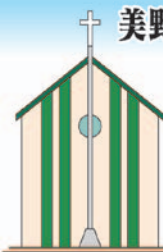
不動産全般・売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみから
踏み出す第一歩

美野島司牧センター建替資金の協力を

現在 **301件 37,557,828-**

(9月15日)

美野島司牧センター建設募金送付先

郵便振替：01760-6-20729

加入者名：カトリック福岡司教区

※通信欄に「美野島司牧センター建設募金」とお書きください

建設費総額 160,000,000-

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：10月7日、21日、11月4日、18日
10時～11時45分

場 所：カトリック大名町教会小聖堂

九州北部豪雨災害

＜ボランティア本郷宿泊所＞

被災地ではまだまだボランティアを必要としています。どうぞ本郷宿泊所をご利用ください。

対 象：原則 18 歳以上の男子 (定員 15 名)

利用申込み：☎0942・65・9200

(受付 9:00～17:00)

利用に関する詳細は教区HPでご確認ください。

※開設期間は 10 月末までの予定です。

福岡地区青年会 勉強会

日 時：10月15日(日) 16時～18時

場 所：大名町カトリック教会

テーマ：「秘跡」について

講 師：杉原寛信神父 対 象：青年

問合せ：アントニオ李神父 ☎092・651・3867

※準備の都合上、参加を希望される方はメールでお知らせください。メール：fukuoka.info@gmail.com

2017 神学院祭

日 時：11月3日(金・祝) 9時～15時

場 所：日本カトリック神学院 福岡キャンパス
(福岡市城南区松山 1-1-1)

テーマ：神の声を聞こう

問合せ：神学院実行委員会 ☎092・871・4943

メール：singakuinsai20@yahoo.co.jp

聖書講座のご案内

日 時：11月19日(日) 14時～16時15分

場 所：カテドラル大名町教会 1階講堂

テーマ：共に暮らす家を大切に

～創世記から環境の問題を考える～

講 師：森山信三神父(福岡コレジオ院長)

参加費：300 円

※旧新約聖書と、お持ちの方は「ラウダート・シ」をご持参ください。

問合せ：福岡コレジオ ☎092・534・4600 森山信三

福島家族支援 手芸の会

福島家族支援のための手芸の会、続けています。

日 時：10月17日(火) 10時半～16時

10月24日(火) 10時半～16時

場 所：大濠カトリック会館

問合せ：平野 ☎090・2082・7432

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

「おはぎ」をいただいた。秋の萩の花を見立てた餅である。野には赤い彼岸花が映えている。10月。教会ではロザリオの月。平和を願おう。

編集後記

お知らせ

◆久留米教会 手話つきミサ
毎月第2日曜(8月をのぞく)
9時から

874多田

◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 10月12日(木) 14時から
(場所) 手取教会(問合せ先) ☎090・9288・6

693中川

◆聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時) 毎週金曜日10時半～12時(場所) 手取教会信徒会館(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先) ☎096・384・1

熊 本

347吉武

佐 賀

◆佐賀祈りの集い
(日時) 10月20日(金) 10時～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8

347吉武

◆小倉祈りの集い
(日時) 10月27日(金) 13時半～15時(場所) 小倉教会信徒会館

2階(指導) 牧山勝美神父(内容) みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎090・3985・5209松田

871・1166 Sr. 兼松

◆茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

案 内 板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10月

1日(日)～7日(土) 聖マリア在俗会(空室あり)
7日(土) ロザリオの会(黙想と祈り)10時～15時(指導：内山神父)
15日(日) S A友の会
16日(月)～20日(金) 福岡教区司祭黙想会(空室なし)
21日(土)～22日(日) 月例黙想会
23日(月)～25日(水) 油山シャローム教会(空室なし)
【11月】
3日(金)～5日(日) カノッサ在世会
4日(土) ロザリオの会(黙想と祈り)10時～15時(指導：内山神父)
18日(土)～19日(日) S A友の会(空室あり)
27日(月)～28日(火) 聖マリア在俗会(空室あり)
※ただいま、ホームページ休止中です。
直接お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：山上の教え

日 時：10月12日(木) 10時～15時

内 容：義のために迫害される人々は、幸せである…
マタイ5・10

指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)

問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター

次 回：11月9日(木) ルカ11・27～28

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

1日(日) 年間第26主日
2日(月) 守護の天使 朝祷会
4日(水) 聖フランシスコ(アシジ)修道者
6日(金) 責任役員会
↑C. ガッザルディ(2016年 伊万里教会)
7日(土) ロザリオの聖母 ↑J. ノーリス(2007年 八代教会)
↑J. ニドハム(2004年 熊本マリスト)
8日(日) 年間第27主日
9日(月) ↑K. オマホニ(2003年 荒尾教会)
10日(火) 住職・司祭団親睦ソフトボール大会(熊本)
↑E. ハトリック(2007年 笹丘教会)
15日(日) 年間第28主日 唐津教会献堂式ミサ
16日(月) 教区司祭黙想会(～20日)
↑フナツ徳山登(2000年 門司港教会)
17日(火) 聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者
18日(水) 聖ルカ福音記者
22日(日) 年間第29主日 世界宣教の日(献金)
臨時聖体奉仕者任命式・ミサ
聖霊による信仰生活刷新セミナー
教会行政法制委員会(～26日)
↑S. ライル(2012年 ファミリーセンター)
↑H. キニユ(2004年 天神町教会)
28日(土) 聖シモン・聖ユダ使徒
カトリック幼児教育教職員養成研修
年間第30主日 浄水通教会堅信式
↑T. アヰズ大木章次郎(2015年 伊万里トラピスト)【11月】
1日(水) 諸聖人 諸宗教対話部門会議
2日(木) 死者の日 常任司教委員会
4日(土) 聖カロロ・ボロメオ司教
5日(日) 年間第31主日 不動山殉教顕彰祈念ミサ

■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による信仰生活刷新セミナー(会期) 9月4日～10月23日(毎週月曜日)(時間) 10時半～12時半(場所) 大名町教会1階(テーマ) 神様が約束されたいのち(参加費) 自由献金・初回のみテキスト代600円(問合せ先) ☎090・972・3708 蓮尾

◆聖ドミニコ信徒会集会
(日時) 10月7・21日(土) 14時～16時(場所) 箱崎教会(内容) ドミニコ会の聖人について(指導) アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先) ☎092・651・3867 箱崎教会◆震災のための祈りのレレ
(日時) 10月11日(水) ミサ6時半から(聖パウロ会福岡修道院・夕の祈り(テゼの祈り)19時から(場所) 笹丘教会(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br. 阿部(パウロ会)◆ミサ聖歌研修会
(日時) 10月15日(日) 13時～15時(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(指導) 深堀純氏(主催) 黙想の家後援会※場内にて自由献金(問合せ先) ☎0940・32・3222◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます！建て替え中も活動は続きます。◆ホームレスの方
に手作りのお弁当配布 毎週火曜日13時から13時30分 美野島公園◆ホームレス支援夜回り 第一金曜日 大名町教会(スーブの会と協働) 14時豚汁・ゆで卵調理 20時夜回り(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 10月17日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容) ロザリオの聖母に捧げるグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686◆カルメル在世会集会
(日時) 10月23日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話「三位一体の聖エリザベット」(指導) 九里彰神父(カルメル会)(問合せ先) ☎095・828・2350 鶴池◆ラスキン黙想と祈りの集い
(日時) 10月27日(金) 19時45分から(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br. 阿部(パウロ会)◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます！建て替え中も活動は続きます。◆ホームレスの方
に手作りのお弁当配布 毎週火曜日13時から13時30分 美野島公園◆ホームレス支援夜回り 第一金曜日 大名町教会(スーブの会と協働) 14時豚汁・ゆで卵調理 20時夜回り(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井

◆みことばを一緒に味わってみませんか(日時) 10月22日(日) 14時～16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(内容) みことばの黙想、分かち合い・茶話会(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 10月20日(金) 頃まで ☎093・

871・1166 Sr. 兼松

◆自死された方々のためにささげる追悼ミサ(身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。)(日時) 11月11日(土) 14時～16時(茶話会会館)

(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(問合せ先) ☎090・8410・892

7叶堂(かなど)

◆ザビエル聖堂献堂4周年記念講演会(日時) 11月11日(土) 10時～15時 15時から感謝の祭儀(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(テーマ) イエスによる救いとは講師) L・ベリオン神父(パリ外国宣教会)(参加費) 無料(問合せ先) ☎0940・32・3222

福岡黙想の家※昼食は各自で用意ください

サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井